

障害者支援施設とさ

基本方針

社会福祉法人土佐厚生会の基本理念たる会是（愛情、奉仕、連帯）を遵守し、利用者の人権の尊重と自己決定、自己選択の保障およびその自立に向けた支援に努め、利用者が豊かな生活と積極的な社会参加ができるよう支援します。

目標

「生きがい、やりがい、ささえあい」を施設のスローガンとして、利用者の豊かな生活の保障に努めます。

生きがい	利用者の生きがい
やりがい	職員のやりがい
ささえあい	利用者と職員、利用者同士、職員同士のささえあい

事業計画

- 利用者の健康管理に努めます。（看護部門）
- 利用者の機能低下の防止に努めます。（リハビリ部門）
- 利用者の栄養管理に努めます。（給食部門）
- 利用者の人権を尊重した支援に努めます。（生活支援部門）
- 利用者の思いを大切にしたい個別支援計画作成に努めます。（サービス管理責任者部門）
- 利用者が楽しく過ごせる施設づくりに努めます。（事務部門）

具体的な取組み

- ・別紙部署別の事業計画の実行と目標の達成
- ・各種委員会活動の充実（職員育成委員会、虐待防止委員会、事故防止委員会、サービス改善委員会、主任者会、生活支援リーダー会、業務改善委員会）
- ・日中活動の充実
- ・部署間連携の強化
- ・地域との交流を深める活動の推進（小学校、中学校、高等学校、専門学校等）

短期入所事業所とさ

基本方針

利用者様の介護に伴う、ご家族の身体的、精神的な負担を一時的に軽減するとともに、利用者様が可能な限り自宅において自立生活ができるよう、障害者支援施設とさに準じサービスを提供させていただき、心身機能の維持向上につとめます。

平成 26 年度 障害者支援施設とさ S W O T 分析

外部環境特性	
機 会 Opportunity	脅 威 Threat
<p>(社会環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化の進行により施設利用者が増加する可能性が高くなった。 ・ 依然として社会福祉事業はなくてはならない事業である。 	<p>(社会環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者総合支援法の内容が不明確である。 ・ 社会福祉の市場開放が加速する。 ・ 社会福祉法人が課税法人となる可能性が高くなった。 ・ 新体系移行に伴い、減収となり経営が圧迫される。
内部（組織）環境特性	
強 み Strength	弱 み Weakness
<p>(組織環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主たる障害を設けていないので欠員となることが少ない。 ・ 地域の利用者が増加して、地域の福祉拠点として機能する足掛かりができてつつある。 ・ 通所事業を併設していることで、ショート利用率が高い。 <p>(地域環境特性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関が近く、緊急の対応が素早くできる。 ・ 施設内でのイベントに家族の参加が増えてきた。 	<p>(組織環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の高齢重度化が徐々に進んできた。 ・ 交通の便が悪く、利用者の自主的な外出を阻んでいる。 ・ 職員確保が厳しくなっている。 ・ 職員育成体制の確立が不十分である。 ・ 施設の改築費用が増大している。 ・ 利用者の支援区分により、稼働率は高いが、生産性が上がらない。